



# 春野中だより

〈教育理念〉 自他共愛  
〈学校教育目標〉・明るく・豊かに・たくましく

令和5年度 第6号

令和5年9月29日（金）発行

さいたま市立春野中学校

〒337-0002 見沼区春野 2-2-1

TEL 682-3951 FAX 682-3952

## 「子どもだけではなく我々も挑戦！」

校長 永谷 和俊

厳しかった残暑も朝晩に涼しさを感じ、長かった夏もようやく終わりを迎えました。また、日暮れの時間の早さや虫の音に秋の気配を感じるよい季節となりました。体育や部活動での生徒の様子を見ても、暑さゆえのパテパテから、生き生きと動いているように感じます。

◇ \_\_\_\_\_ ◇  
三浦雄一郎さんというプロスキーヤー・冒険家の方をご存じでしょうか。私にとって憧れのヒーローです。ダイナミックな生き方と考え方にとっても感銘を受けています。

簡単に紹介しますと、1964年スピードスキーで当時世界新記録を樹立し、富士山での直滑降成功、54歳でエベレストなど世界七大陸最高峰全峰からの滑降を成功など、数々のギネス記録をもっている方です。また、息子の豪太さんの長野オリンピック（モーグル）出場や、父・敬三さん（当時99歳）と親子3代でモンブランの冒険スキーなど冒険一家です。

その三浦雄一郎さんですが、90歳となった今年の8月に富士山の登頂を成功させました。不自由な足をカバーするために、山岳用車いすを家族や仲間らがサポートしての登頂でした。大きなニュースとして報道されていました。さすがに年老いた姿にさみしさもありましたが、その身体でも挑戦していく姿に改めて感動をいただきました。

◇ \_\_\_\_\_ ◇  
先月の学校だよりでは、「たくさんの挑戦・失敗・経験を」と題して、様々な「挑戦」をしていただきたいことを記しました。そして、私の個人的な考えですが、人に「挑戦」しなさいと言うなら自分も「挑戦」しないとだめかなと思っています。そのために4年ぐらい前からジョギングをはじめてみました。走るのは遅いですが、ハーフマラソンからフルマラソンと完走できるようになり、62kmのウルトラマラソンや8時間耐久レースなどにも挑戦し、何をを目指しているのか分からなくなっています。また、この夏には、富士山初登頂に挑戦しました。7合目の宿をとって、ゆっくりゆっくり登りました。登頂成功はとても感動的で達成感を味わいました。しかし、なかなか厳しかったです。しばらく登山はよいかなのというのが正直な感想です。

話は戻りますが、三浦雄一郎さんの90歳での挑戦は本当に感服です。「挑戦」には、年齢制限がないことと、自分で自分の限界を決めてはいけないなど考える機会となりました。

◇ \_\_\_\_\_ ◇  
学校では、3年生が引退してから、2年生を中心に1・2年生のチームがスタートし、いよいよ新人戦となりました。3年生が抜けた穴はとても大きく、戸惑いも多々あったと思いますが、それでも少しずつ慣れ、今を迎えることができている。今年は本当に暑く、災害級の猛暑と言われる中、練習や練習試合で力をつけ、頑張ってきました。もっている力を出し切り、結果を残せるよう願っています。

ぜひ、春野中生らしく、最後まであきらめない姿勢、ともに応援する姿勢、自分と仲間を褒めたたえ、自信としてほしいと思っています。

また、あまり気負いすぎて、緊張して力が出し切れなかったという反省は残念です。気持ちに余裕をもち、楽しんでくるぐらいの気持ちももって頑張ってきてほしいと思っています。

保護者の皆様も、新チームへの期待や緊張等あるかと思いますが、100%の力が発揮できるよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。